



目高豊岡南道路八代川橋



目高豊岡南道路山本高架橋



目高豊岡南道路山本地区



兵庫県北部と京阪神都市圏との連携を強化する

一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点とし丹波市に至る延長約70Kmの高規格幹線道路であり、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域を直結し、さらには京阪神都市圏との連携を強化し、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。



まちづくりと一体になった道路整備で地域を活性化

道路整備はまちづくりの重要な要素です。北近畿豊岡自動車道に関する調査・計画を行っており、地域の課題を把握し、地域の声を反映しながら透明性・客観性・合理性・公平性を確保すること、行政としての説明責任を十分に果たすことを大切に計画や事業を進めています。自分が携わった道路が開通し、地域の活性化につながると感慨深いものがあります。

地域の発展には道路整備だけでなく、まちづくりと一体となって土地利用計画や交通施策などを行うことが不可欠。自治体や関係機関等とともにどのような道路が必要か、地域の方々が見望する道路とは何かを考え、地域の活性化や安全・安心につながるより良い仕事を目指しています。



地権者に寄り添いながら必要な用地を取得

北近畿豊岡自動車道の整備に向けた用地取得を担当しています。用地取得は公共事業のためとはいえ、土地所有者といった地権者の大切な財産を譲っていただくもの。事業の必要性を理解していただけるように努めるのはもちろんのこと、特に自宅など生活の拠点となっている土地が対象の場合は今後の生活に不安を抱かれていることが多いため、少しでも不安を解消できるように地権者に寄り添った対応を心がけています。そのためには補償だけでなく、税や建築など幅広い知識や専門用語を噛み砕いて説明する説明力や、なにより地権者と信頼関係を築くコミュニケーション能力が必要です。大変ですが、そこが面白くやりがいを感じる場所です。





八鹿目高道路宿南地区



雪氷作業

八鹿氷ノ山IC

緊急時の迅速な対応で 安全な交通を

北近畿豊岡自動車道の維持管理に携わっています。高速道路であるため通行止めになった時の影響が大きく、異常があった際は迅速な判断・対応が求められます。現場の状況を道路パトロールで確認し、事故などの緊急時に対応し、「縁の下の力持ち」的な仕事にやりがいを感じています。補修工事については日中の交通量が多いため夜間に行うことがほとんど。警察など関係機関と何ヶ月も前から協議し、利用者に通行止めの周知をしようやく修繕となり、利用者から「きれいになった」という声をいただくと思わず口が緩みます。

国土交通省の事業は大規模で広域的かつ技術的にも高度なものが多く、無事完了し、効果を発揮した時の達成感は何ともいえないものがあります。

平成27年度入省
川端 真治
豊岡河川国道事務所
朝来国道維持出張所
管理第二係長

土木



日々成長



開通後の効果を評価し、 適切な道路整備を

以前は、北近畿豊岡自動車道の未事業化区間のルートの検討や環境への影響調査、事業を進めている区間の地質調査・測量などの業務を担当していました。自分の携わった調査を基に高速道路の整備が進むため、非常にやりがいがありました。

現在はこれまでの経験と知識を活かし、事業の継続が適切かどうか、開通した道路にどんな効果が現れているかを確認する事業評価に携わっています。移動時間の短縮や渋滞解消、事故減少などの整備効果をとりとめ、学識の先生方や有識者の方に委員会で意見を聞いています。事業の効果が認められ継続が決まるとうれしく、効果をとりとめる際には地域の方々からの期待や喜びの声を聞くと励みになります。

平成26年入省
佐々木 隆行
道路部 道路計画第一課
道路分析評価係

土木



地図を
変える
一役に!



道路空間の有効活用で 地域に貢献

道路を人や車両の通行という本来の目的以外のために使用する「道路占用」。その事務業務を行っています。例えば歩道上の広告物、地下の水道管、大きな物だと高架下の公園などで、設置前には「道路占用許可申請書」を提出してもらい、道路や利用者の安全を考慮して審査・許可を行います。

現在、様々な場所で地域活性化のために道路高架下空間の有効活用が進められており、北近畿豊岡自動車道では地域の方が使用される駐車場を整備する許可を行いました。

何もなかった空間が地域の人たちが利用できる公園や駐車場に生まれ変わるのを見ると、まちづくりに関わっているのだと感慨深く思います。

平成29年度入省

菅原 優香
道路部 路政課 行政第一係

行政



みなさんと
一緒に働ける日を
楽しみにしています!

